

令和4年12月20日提供の給食に異物混入が発生したご報告

給食のお汁（のっぺい汁）に異物混入が発生しました。

【異物混入に気づいた経緯】

午前11時ごろ、1歳児あひる組の担任がお汁をお椀に入れた時に“白いらせん状のもの”が浮いていることに気づきました。

その職員は“異物”ではないかと思い、すぐに調理室、園長に報告に行きました。園長も異物であることを確認し、すぐに全クラスへお汁の提供を止めさせました。

しかし、その時点で0歳児ひよこ組の幼児食のお子さんは既に食事を始めていて、お汁を1杯食べてしまっていました。（その後ひよこ組のお汁のおかわりは提供せず給食を終えました。）

※異物混入判明後、ひよこ組以外のクラスへは調理室はお汁を作り直し提供しました。（お汁は、すまし汁に変更しました。）

“異物”は、当園のプラスチック製のまな板の表面が削れたものでした。まな板の表面を見ると、包丁の後が深く、削れたことがわかりました。異物の見た目は、鉛筆削りのカスのように“らせん”状態のものや、細かいカスのようなものです。

※異物が入ったお汁は保護者の方に実際にご覧いただける様、当日(今年4年12月20日)中は職員室に置いておき、食べてしまったひよこ組の保護者の方や希望された方にはご覧いただきました。

【異物混入の原因】

調理室で使用していたプラスチック製のまな板は、今までも使用しておりましたが、今回のように削れたのは園としても初めてでした。

経年劣化していたところへ包丁の先で力強く食材を切ったことが削れた原因ではないかと考えております。

【今後の対応】

今回を機に経年劣化した調理器具の見直しや、保育室においても食事提供前の確認などできる事をして参ります。

本日のお汁を喫食してしまった、ひよこ組（幼児食）のお子様については、体調の変化など健康面で観察を続けていくとともに、各ご家庭でも様子を見ていただくようお願い致しました。

今回、この様にご心配をお掛けすることとなり、誠に申し訳ございません。今後この様な事が無いよう、十分気を付けてまいります。